

米沢市地域公共交通計画実施事業の取組内容一覧(令和4年度から)

【資料2】

項目	No.	事業名	実施（内容、事業費等）					令和4年度実施内容 （内容、事業費）	令和5年度実施内容 （内容、事業費）	令和6年度実施内容 （内容、事業費）	令和7年度実施内容 （内容、事業費）	令和8年度実施内容 （内容、事業費）	事業主体
			計画年次										
一、市街地の魅力向上プロジェクト	1	市街地循環路線の再編・見直し（右回り・左回り）	市街地循環路線（右回り・左回り）の学生等の通学や市民の日常的な移動において利用しやすいダイヤ（パターンダイヤなど）や経路、路線名称等の見直しを行う。					○循環路線（右回り・左回り）のルート検討。 ○すこやかセンターでの時間調整。 ○米沢駅東口からの発着検討。	○循環路線（右回り・左回り）のルート・ダイヤの検討。 ○ダイヤ改正に向けた各種事務手続。 ○米沢駅東口からの発着（4月1日～）				米沢市
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討	実施→検討	検証→実施	見直し→検証	見直し	-		-			
	2	市街地循環路線の再編・見直し（南回り）	市街地循環路線（南回り）の学生等の通学や市民の日常的な移動において利用しやすいダイヤ（パターンダイヤなど）や経路、路線名称等の見直しを行う。					○循環路線（南回り）のルート検討。	○循環路線（南回り）のルート・ダイヤの検討。 ○ダイヤ改正に向けた各種事務手続。				米沢市 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討	検討	実施	-	-	-		-			
	3	米沢駅の誘導サイン等の改善	米沢駅・ナセBAでの乗り換え経路・時間等をスムーズにするため、見やすく認識しやすい誘導サインや標識等を設置する。					○プロポーザルを実施し、米沢駅構内及び周辺の誘導サイン等見直し計画を策定。	○令和4年度に策定した計画を元に誘導サインの設置。	○令和5年度に設置できなかった米沢駅構内及び周辺部の誘導サイン等の設置。			米沢市 JR東日本 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討	調整→調整・設置	設置	見直し	見直し	2, 519, 000円		4, 000, 000円	（令和5年度検討）		
	4	ナセBAの交通拠点としての機能強化	ナセBAを市街地内の新たな交通拠点として設定し、路線バス・市街地循環バスの経由地としての設定や、バス待ち環境等を整備する。					○市街地循環路線の再編・見直し及び平和通り商店街相互通行開始に合わせて検討。	○市街地循環路線の再編・見直し及び平和通り商店街相互通行開始に合わせて検討。 （令和6年4月上旬相互通行供用開始予定）				米沢市
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討	再編→検討	見直し→再編	見直し	見直し	-		-			
二、市街地へのアクセス性確保プロジェクト	5	郊外部の路線バスの再編・見直し	郊外部を運行する路線バスについて、利用状況等に応じて適切に見直しを行うことで効率性を向上し、市街地へのアクセス手段として適切に維持する。					○山交バス小松線の廃止について検討及び地域への周知。 ○山交バス小野川線及び上郷線の減便について検討及び地域への周知。	○令和5年4月1日から山交バス小松線廃止に合わせて六郷地区のりあいタクシー実証運行開始。山交バス小野川線及び上郷線減便。 ○その他の路線バスも含めて、郊外部の公共交通見直しに合わせて検討。				米沢市 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討	再編	再編	見直し	見直し	-		-			
	6	運行方法・交通モード等の見直し	地域特性や住民の意向等に応じて、郊外部から市街地へのアクセス手段の運行方法や交通モードの見直しを図ることで、効率性や利便性の向上を検討する。					○市内7地区と協議。 ○六郷地区実証運行開始に向けた各種事務手続き。	○令和5年4月1日から六郷地区実証運行開始。 ○その他の地区については、引き続き協議及び需要調査等を行う。				米沢市 山交バス タクシー事業者 その他運行事業者 地域住民
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）	
			検討→再編→見直し→→					-		2, 400, 000円			

米沢市地域公共交通計画実施事業の取組内容一覧(令和4年度から)

【資料2】

項目	No.	事業名	実施（内容、事業費等）					令和4年度実施内容 （内容、事業費）	令和5年度実施内容 （内容、事業費）	令和6年度実施内容 （内容、事業費）	令和7年度実施内容 （内容、事業費）	令和8年度実施内容 （内容、事業費）	事業主体
			計画年次										
三、 広域連携強化プロジェクト	7	鉄道との接続性向上	米沢駅において、特に利用が多い時間帯を見極めつつ、鉄道（新幹線・在来線）や広域路線バスの到着時間に合わせて市内のバスのダイヤを設定する。					－	○循環バス各路線のパターンダイヤ化等見直しに合わせて再編を検討。				米沢市 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			－	再編 →検討	検証 →再編	見直し →検証	見直し	－					
	8	維持・管理に要する財源の確保	広域連携の中心となる鉄道・高速バス等の維持に向けて、交通事業者をはじめ、県や他の沿線自治体と連携した協議を行いながら、適切に見直しを図り、効率性の向上を図りつつ、国庫補助（地域間幹線系統等）も有効に活用して適切に維持する。					○地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金確保。 ○公立置賜総合病院利用者へのヒアリング調査。	○地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金確保。 ○公立置賜総合病院利用者へのヒアリング調査結果を受けた他自治体との調整。				置賜3市5町 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			財源の確保					－					
	9	奥羽新幹線の整備と米沢-福島間トンネル整備の早期実現	昭和48年の政府の基本計画に位置付けられている奥羽新幹線の早期実現と輸送障害が頻繁に発生している山岳区間（米沢-福島間）におけるトンネル整備の実現に向けて、政府等に対する要望活動のほか、市民理解の醸成や新幹線の利用促進に向けた取組を推進する。					○精密機械部品輸送 ○トークショー ○国及びJR東日本への要望活動 ○山形新聞への広告掲載 やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトと連携した取組	○新幹線を活用した貨物輸送について継続検討。 ○要望活動				米沢市 山形県
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			要望活動・利用促進の取組					1, 000, 000円560, 000円					
四、 利用しやすさ・わかりやすさ改善プロジェクト	10	運賃制度の見直し	現状、路線バスと市民バスで異なる運賃体系※について、同一運賃制、運賃減額、乗継割引制度など、分かりやすく利用しやすい制度への見直しを検討する。 ※路線バス：対キロ区間運賃制運賃、市民バス：定額制運賃					○割引方法の検討。	○割引方法の検討。				米沢市 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			検討	→	導入	見直し	→	－					
	11	バス待ち環境の改善	市内各所の主要なバス停において、経路の沿道上の施設と連携したバス待ち環境の向上や、案内等の設置による分かりやすさの向上を図る。					○イオン前及び山形大学工学部前バス停に広告付上屋の設置のために協定締結。 ○信夫町バス停についてスタジオ八百万前へ移動。 ○市役所前バス停時刻表看板作成。	○イオン前及び山形大学工学部前バス停に広告付上屋の設置。 ○循環路線の再編・見直しに合わせてバス停設置箇所の選定。 ○商店及びコンビニエンスストアへの協力依頼に向けた調整。				米沢市 山交バス 地域住民等
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			選定 →実施	実施	実施	実施	実施	259, 600円－					
	12	運行情報の公表（オープンデータ）・更新	バスの運行情報の公表（オープンデータ化）を進めるとともに、適切に更新することで、最新の情報が経路検索事業者等に提供される流れを維持する。 また、オープンデータを活用した交通系アプリなど検索ツールの利用促進に向けた取組を行う。					○適宜データの更新。	○適宜データの更新。				米沢市 山交バス
			4	5	6	7	8	事業費（円）					
			データの更新					－					

米沢市地域公共交通計画実施事業の取組内容一覧(令和4年度から)

【資料2】

項目	No.	事業名	実施（内容、事業費等）					令和4年度実施内容 （内容、事業費）	令和5年度実施内容 （内容、事業費）	令和6年度実施内容 （内容、事業費）	令和7年度実施内容 （内容、事業費）	令和8年度実施内容 （内容、事業費）	事業主体	
			計画年次											
四、 りやす 改し ト善 やす プロ さ ジェ ・わ わか	13	総合的な公共交通 マップ・時刻表の 作成	公共交通の様々な情報を示したマップや観光地への移動手段などを示した時刻表の作成により、市民の利便性向上と観光利用の取り組みを図る。					－	○啓発パンフレットの作成。 ○循環線の再編・見直しに合わせてバスマップの検討。	○再編・見直し後のバス路線でのバスマップ作成			米沢市 山交バス	
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）		事業費（円）
			－	検討 →作成	作成	見直し	→	－		275, 000円	（令和5年度検討）			
五、 公共交通の 基盤固め プロジェクト	14	ICカードの活用	県が進めるバス事業者へのICカードの導入に合わせて、普及促進を図るほか、得られる乗降データ等を活用して、利用実態等の把握や運行等に係る評価・検証を定量的に行う仕組みづくりを行う。					○ICカード普及活動（チラシ配布、バス停への周知チラシ貼り付け） ○市役所でのyamako cherica販売。 ○学生向けにyamako chericaの配布。	○山交バス米沢営業所及び米沢市役所以外でのyamako cherica販売の検討。 ○バス車内及びバス停時刻表での周知。				米沢市 山形県 山交バス	
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）		事業費（円）
			ICカードの普及促進とデータの活用					19, 370, 000円		－				
	15	バスの乗り方教室 の実施	小学生等を対象にバスの乗り方教室を開催し、バスの乗り方や公共マナーの大切さを伝え、公共交通に対する市民意識の向上を促す。					○コミセン館長会での周知。	○小・中学校向けにバスの乗り方教室の周知。 ○各コミセンに向けたバスの乗り方教室の周知。				米沢市 山交バス	
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）		事業費（円）
			適宜実施					－		－				
	16	地域主体の交通 サービスの導入等 の支援（乗用タク シーの活用など）	地域（プロジェクト１・２ではカバーできない交通不便地域）でのきめ細やかな移動手段等について、地域住民（町内会など）が主体的に考え、取組を検討する場合、市も検討にあたってサポートや財政的な支援等を行う。					○地域からの要望は無かったので、市が主体的に行う次年度以降の事業検討。	○市街地内の交通需要に関するアンケート調査の実施及び交通モードの検討。	○検討結果を元の実証運行。			米沢市 運行事業者 地域住民	
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）		事業費（円）
			意見交換 →検討	協議・検討 →調査・検討	実証	見直し・運行		－		435, 200円	（令和5年度検討）			
	17	企業や免許返納者 に対する利用促進 策の展開	市内企業等と連携したノーマイカーデー運動（週複数回）の実施や、免許返納者に対するサービスの提供など、公共交通の利用促進策を展開する。					○八幡原企業協議会からの交通弱者の通勤手段に関する要望に対して、需要調査の実施及び八幡原企業協議会との協議。	○免許返納者に対するサービスに関して関係事業者、環境生活課及び高齢福祉課と次年度実施に向けて検討。 ○八幡原企業協議会との協議。	○免許返納者に対するサービスの実施。			米沢市 企業 市民等	
			4	5	6	7	8	事業費（円）		事業費（円）	事業費（円）	事業費（円）		事業費（円）
			検討	適宜実施 →検討	適宜実施	適宜実施	適宜実施	－		－	（令和5年度検討）			